

共同教育学部の高校生向け広報活動について

(1) 広報活動の種類

- ・見学会：高校生が大学を訪れるので、①共同教育学部の説明、②授業見学、③施設見学、④学食での食事等を行う。①は教員、②は可能であれば開講中の授業、③④の案内は担当総務係員が担当する。
- ・出張講義：教員が高校を訪れ模擬授業を行う。高校からの直接依頼の場合と、仲介業者を通じての場合がある。仲介業者を通じての場合、高校によって担当教諭の関与の具合に差がある。系・教科を指定してくる場合もある。
- ・説明会：群大共同教育学部の説明会の場合と、進路としての教育系の説明会の場合がある。出張講義と同様、高校から直接と仲介業者を通じての場合がある。

(2) 広報活動の流れ

- ・希望者が群馬大学のホームページ又は仲介業者を通じて総務部総務課に申込みをする。
- ・総務部総務課が各学部担当者（共同教育学部は総務係員）に連絡する。
- ・総務係員が下記（3）を基本として広報部会長と協議のうえ引き受けるかどうかを決定。
- ・講座主任に対応教員を選出していただくよう依頼する。
- ・講座主任は講座内で対応教員を選出し、総務係員に連絡する。
- ・総務係員は決定した教員名や講義タイトルなどを総務部総務課に連絡する。
- ・総務係員と対応教員で連絡を取り、手持ち資料や学部案内を手渡す。
- ・対応教員は高校を訪問または共同教育学部で説明等を行い、報告書を高校アプローチシステムに入力する。

(3) 広報活動諾否の基本コンセプト

- ・当該高校出身の在学生、卒業生、志願者等の状況を調べ、出身者がまったくいない場合やあまりに遠方な場合、対応不可能な場合には断る。

(4) 講座の選出方法

- ・系や教科の指定があった場合はその講座に依頼する。
- ・進路としての教育系の説明会の場合は、学校教育講座に依頼することが多くなる。
- ・それ以外は各講座の教員数を考慮して公平になるよう、バランスよく依頼する。

(5) 講座内での選出方法

- ・単純に順番に回す場合と、時間に都合が合う教員が担当する場合がある。

(6) 高校との連絡について

- ・担当教員と高校の担当教諭との直接の連絡がないので、実際に行ってみて高校側の要求と齟齬が発生する場合がある。